

平成28年度岡山ESD推進協議会
岡山ESDプロジェクト活動支援助成金事業報告書

事業名 町内の課題克服と地域リーダー養成のための学習会(支え合う地域づくりを目指して)

団体名 津倉わいわいESD 担当者名 小槇章生

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）			
別紙(平成28年度 津倉わいわいESDの活動実績表)のとおり			
・4月17日	講演「これからの岡山…支え合う地域づくりを考える」	10:00～11:30	津倉町集会所
・5月15日	講座「電力小売り全面自由化について学ぶ」	10:00～11:30	津倉町集会所
・6月19日	研修「神戸防災センターで減災について学ぶ」	10:00～14:00	神戸
・7月17日	講座「ラジオ塔の歴史について学ぶ」	10:00～11:30	津倉町集会所
・7月25日	懐かしい地域行事を復活させて、子供を含めた幅広い交流を図る……		
	「津倉稻荷堂の夏祭り」「寺子屋の開催」	13:00～16:00	津倉稻荷堂(妙應寺)
・8月23日	会員会議	10:00～11:30	津倉町集会所
・9月22日	講演「いま、なぜ二宮金次郎なのか」	10:00～11:30	津倉町集会所
・10月16日	講座「認知症の予防 & 健康寿命」	10:00～11:30	津倉町集会所
・11月19日	会員会議	10:00～11:30	津倉町集会所
・12月24日	講座「料理教室(クリスマスケーキ作り)」	10:00～17:00	京山公民館
・12月25日	「独居老人を囲むクリスマスパーティ」	18:00～20:00	津倉町集会所
・2月19日	講座「健康寿命を伸ばす…」	10:00～11:30	津倉町集会所
・3月11日計画	「津倉古墳の発掘見学会」 ※岡山大学調査隊	14:00～	古墳現地
2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ			
<p>・総会をはじめ町内会の会議に出席して、ESD活動のPR、理解促進に努めた。昨年度のESD活動の一部を町内会事業に組み入れた。(稲荷堂夏祭り)</p> <p>・高齢化の進む町内の実状を踏まえて、10年前後に到来する課題への準備学習を行った。現在の独居老人世帯は11%であるが、近い将来は20%超になると考えられる。継続して出来る「ふれあい交流」から共助の精神を醸成する。</p> <p>・世代を超えた「ふれあい」を求めて、共に参加できるイベントを開催し、若者の中から次世代リーダーの発掘に努めた。</p> <p>・町内で多数の人が参加可能で持続可能な行事を形成し、「支え合う地域づくり」の精神醸成に貢献できた。(ラジオ塔を活用したラジオ体操および野点茶会、稲荷堂夏祭り、独居老人を囲むクリスマスパーティ)</p> <p>・地域の人と交流の輪を広げたい意向を持つ町内の事業所(会社)や寺院と提携して、効果的な活動イベントを行なうことができた。また、京山公民館との連携を図り、効果的な活動に繋がった。</p> <p>・毎週実施している「ふれあいカフェ」は、高齢者に対する支援内容が読めて効果的である。また参加者が楽しんで参加している様子が分かるので、メニューが替えやすい。</p>			

3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）

- ・講座会に参加してくる顔ぶれは、テーマにより様々であるが 4 月講演の中で講師から「支え合う地域づくりをテーマにするESD活動は称賛に値する。これは、町内の文化レベルが高い証拠であり次世代の子孫に引継いで行こうとする地域住民全体の優れた活動である。」と評価を受けたことがある。以来、参加者の中で「役に立つかも知れないことを学習している」という意識の人があるように感じる。
- ・依然として、高齢者の参加が多く見られるが、健康問題等の身近な課題に共感しての参加と思われる。
- ・講座の議題次第では若い人の参加も見られるので、生活に密着した「議題」を取り入れた活動も行う。
- ・昨年、津倉町内で半世紀ぶりに復活させた「稻荷堂夏祭り」には、世代を超えた多くの人々が参加し昔懐かしい行事に多大の賞賛を受けた。本年からは、町内会と連携して更に充実した内容となった。
- ・「お茶会」は、小学生や幼児が休日を利用して点前を修練し、親や祖父母に感謝を込めて振舞う。
この「ふれあい茶会」は、微笑ましい光景のイベントになってきている。今年は、ラジオ塔から流れる琴の音を聞きながら野点茶会を行なうことが出来て、更に津倉の魅力発信と文化イベントを通しての地域交流が進んだ。また、NHKのニュースに放映されるなどイベントの位置づけも変わったことで参加者意識に変化がみられる。（伝統行事を引継いで、老若男女の交流を促進する）
- ・今年度の成果の一番は、何といても「ふれあいカフェ（毎週 1 回開催）」の定着である。当初、毎週開催に自信はなかったが、参加する側からみると月に 1～2 回では魅力がなく逆に定着し難いだろうと考えた。準備するESD会員は、大変であるが高齢者の方に大層喜んで頂ける結果となり遣り甲斐のある活動となっている。カフェの中で得た情報に基づいて電球交換、住宅の修理、物の移動、庭木伐採などお手伝いで喜ばれている。さらには、生き甲斐を感じてもらう為に自分の得意な事を一冊の本（おばあさんの知恵袋）にまとめて発行するなど目に見える活動になってきていることが楽しく嬉しいようだ。

4. 今後の課題と展望

- ・次世代の地域リーダー候補者はいるが、現役世代をESD活動に参加させる事は難しい。現役世代との交流が図れる行事を企画して、計画的なリーダー養成を町内会と連携して行いたい。
- ・超高齢化の進む地域社会を見通して、「支え合う地域づくり」の形成が町内に必要と考えている。現段階でも独居老人の世帯は 10%を超えている。他人事と想定しても10年後は一人住まいの世帯が 20%超となっているだろう。高齢者の生活環境は大きく変わってくる。これに向けた行動を起こしたいと考えて取れあえず「ESDふれあいカフェ」を起動させた。高齢者が継続して参加し、喜んでくれているところをみると広く町内会として取り組むべき時期も近いと感じる。今後とも高齢者同士のふれあいを促進し、その交流の中から高齢者の生活に必要な「支援活動」を見出していきたい。

津倉わいわいESDの活動実績(平成28年度)

開催日	講師 および主催者	活動内容	参加 者数	摘要
4/17	元 おかやま財界 社長 池田武彦	講演「これからの岡山…支え合う地域づくりを考える」 ・岡山市第6次総合計画の解説及び市民生活の在り方 ・答えは「地域の助け合い」にある	35	・今年度から始まった「ふれあいカフェ」についての質問が多くあった。 ・ESD活動は、次世代の子孫に引継ぐためにやる
5/15	岡山市消費生活センター 所長 中西信行	講座「電力小売り全面自由化に伴う電力会社の選び方について」 ・仕組みを学び、お得な会社を選択	41	・詐欺などの契約更新トラブルが多いので注意する ・うまい話を信用しない。高齢者の相談相手になる
6/19	神戸防災センター見学 会員の研修	研修「突然の災害に備える心構えと準備品」「地域の交流の大切さ」…について ・日頃から「支え合う地域づくり」を推進する必要性を学んだ	7	・減災グッズを備える ・消防署や行政は何もしてくれない…近所力が必要
7/17	フリーカメラマン 一幡公平 氏	講座「ラジオ塔の歴史」 町内の公園内に現存する「ラジオ塔」は、全国でも希少な文化遺産の一つである。イベントに活用して町内の活性化を役立てて行きたい	38	※7月20日より、ラジオ塔の下で「夏休みラジオ体操」を実施した ・昭和10年代製作のラジオ塔は、国民生活に大きな変革をもたらした
7/25	「津倉稲荷堂夏祭」の開催 ・ESD会員が中心になって町内会と協賛開催	テーマ:「懐かしい町内の行事を復活させて子供を含めた幅広い交流を図る」 ・寺子屋、祖母・祖父が教える昔遊び ・小学生が点てる茶会、ビンゴゲーム	95	・子供とのふれあい ・文化イベントの復活 ・地域の寺院との連携
8/23	会員会議	・ESD事業の浸透と活動の見直し ・地域リーダー養成に向けた活動計画 ・協力会員の増員計画と夏祭り総括	10	・まずは、ESD活動のPR ・地域リーダーの発掘に尽力する
9/22	元 オリエン特美術館 館長 植田心壮 氏	講演「いま、なぜ二宮金次郎なのか」 金次郎の人間性に惹かれ、立像のある現地を講師が探訪する話 ・備前焼などの陶器製が多い	40	・校庭に像はあったが、教材として金次郎は使われていない。全て地域からの寄贈 ・教育者からは、戦争を絡めでの反対意見もある

10/16	岡山市健康福祉局 ソーシャルワーカー 黒住 氏	講座「認知症の予防&健康寿命」 認知症については、医療の進歩により 治療と予防が可能になった ・日常生活の改善により、健康寿命を伸ば す努力が解決の早道である ・予防の一番は、「人に教えること」です 教えなくとも、人と会話することが大切	35	・介護をする側、される側の 双方が出席して有意義な 講座になった ・高齢者にとって重要点は ① 人間関係 ② 生活環境 ③ 生活習慣 を変えないこと
11/19	会員会議	・12月実施の「クリスマス カフェの実施計 画の検討 ・準備品の整理	10	・ケーキ作りの計画 ・独居老人への配達&イベ ント招待の検討
12/24	料理教室 クリスマスケーキの手作り	・親子&祖母等家族で作る「ふれあいケ ーキづくり」で交流する企画 ・子供が進んでケーキ作りに取り組む姿 は、他で味わえない「ふれあい」である	50	・公民館で 10:00~17:00 まで料理交流した ・生き生きとした姿の子供が 見られた
12/25	クリスマスパーティ&忘年会	「ふれあいカフェ」のメンバーを中心に して独居老人を招待したパーティを開催 ・支え合う地域づくりの実践	25	・一人暮らし老人への楽しみ を演出 ・1年間の活動反省会および 忘年会
2/19	岡山ヤクルト販売(株) 常務 永井正夫 氏	講座「健康寿命を伸ばす...人体の構造 機能を学ぶ」 ・不健康期間を短くする日常生活の改善 について学ぶ	35	・不健康期間 男性:約10年 女性:約12年
4月 ~ 2月 (年間)	「ふれあい カフェ」 毎週 月曜日 13:00 ~ 16:00	超高齢化社会に備えて「支え合う地域 づくり」を目指す ・高齢者特に独居老人の生活支援を図る 目的で毎週開催の「ふれあいカフェ」を開 催	30 回 毎週 13~ 18人	・開催日ごとに、少しずつ メニューに変化を持たせて 飽きないよう、自分の好きな メニューが必ずあるよう... 配慮した企画を行っている